

公益財団法人静岡県国際交流協会 令和2年度事業報告

○令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業の一部の中止や縮小などを余儀なくされ、結果として決算額（経常費用計）は、5,973万円余（前年度6,385万円余）、経常増減額は前年度に引き続き、391万円余の黒字決算（前年度369万円余の黒字）となった。

○静岡県の外国人労働者（令和2年10月末）は65,734人であったが、前年と比べ増加率は事業所及び労働者数ともに大幅な縮小となった。産業別に見ると、「製造業」の増加率の低下が見られる一方、「医療、福祉」が増加した。

本県は、労働者派遣・請負で就労する外国人労働者は全体の約4割を占め、全国で2番目と高く、新型コロナウイルス感染症の拡大による雇用情勢の悪化が、外国人労働者にも多大な影響を及ぼしている。

○協会の重点事業としての取組は、令和元年7月に「静岡県多文化共生総合相談センターかめりあ」を開設し3年目に入り、外国人県民からの相談を通じて、相談対応の経験を積み重ね、専門家による相談会の開催や事例の具体的な連携により、各相談に対して的確な課題解決に努めている。

○静岡県が令和2年2月に「静岡県地域日本語教育推進方針」を策定したことを受け、「静岡県地域日本語教育体制構築事業」を県委託事業として実施した。当協会内に地域日本語教育総括コーディネーターを配置するとともに、これまで当協会が取り組んできた地域日本語教育事業から得た知見を基に、実施事業全般にかかる助言や運営サポートを行った。また、新規日本語教室実施にかかる支援者養成講座や教材作成に取り組んだ。

○新型コロナウイルス感染症は、親の収入減や学校の臨時休業、授業のオンライン化等が要因となり、子どもの孤立や学習の遅れ等、教育にも影響を及ぼしている。「子どものための日本語学習支援基金」では、ブラジル人学校の日本語教育を支援し、日本語指導者の派遣や教材提供を実施した。また、進学を見据えた学習支援を必要とする子どもが増えているため、教員や支援者の知識増進を目的とした研修会「外国人の子ども支援員養成講座」を実施した。しかしながら、新型コロナによる先行き不透明な生活が長期化していることから、子どもの安全と健康を守るための更なる支援策が必要である。

○資産運用では、基本財産の投資有価証券の令和3年3月末の時価指数は、113.36（前年同期比114.28）となった。また、事業実施に当たっては、年間を通じ効率的な事業執行や事業効果の最大化を図り、公益法人会計を知悉する会計事務所の指導及び指示に基づき的確な会計処理に努めた。

1 国際理解・交流推進事業

(1) 情報収集提供事業

- ア 情報誌(SIR Joy Press) 4,000部を年10回発行した。(6月号は休刊)
- イ ホームページ「SIR 静岡県国際交流協会」の保守及び5言語(日本語・やさしい日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語)による情報提供を行った。
 - ・平均ユーザー数 4,237ユーザー/月
 - ・平均ページビュー数 18,221件/月

(2) 国際理解教育事業

国際理解・交流推進に取り組む県内外団体が連携・協働を強化するとともに、県民への情報発信力を高めるため、地域課題に取り組む諸団体・実践者と連携して「アース(明日)カレッジ」を開催しているが、令和2年度は中止した。

(3) 外国語ボランティアバンク設置及び災害時外国語ボランティア育成事業(県委託事業)

県の国際的イベント開催時の言語支援や災害時の外国人住民への円滑な支援体制の構築等を図るため、県が養成した外国語ボランティアや語学が堪能な県民のボランティア登録を行うとともに、情報提供及び資質向上研修を実施した。災害時の外国人支援体制を整備するため、災害時外国語ボランティアの募集・登録を行い、研修会を実施した。

ア 外国語ボランティアバンク設置

- ・登録者数 1,444名 31言語 (内災害時外国語ボランティア 293名 21言語)

イ 研修会の開催(東部・中部・西部)

「通訳・翻訳は文化理解から フィリピン編」

- ・開催時期 令和2年8月29日(土)
- ・会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」502会議室(静岡市)
- ・参加者 13名

「異文化コミュニケーション講座 ベトナム編」

- ・開催時期 令和2年11月14日(土)
- ・会場 袋井市防災センター(袋井市)
- ・参加者 14名

「おもてなし講座～静岡県東部地域から世界へ魅力を発信！」

- ・開催時期 令和2年11月22日(日)
- ・会場 プラサヴェルデ401会議室(沼津市)
- ・参加者 17名

第1部「東京オリンピック・パラリンピック自転車競技の静岡県開催概要」

第2部【講義】おもてなし講座 【演習】地域の魅力を発信しよう」

ウ ボランティアバンク通信を年6回発行

エ 語学ボランティア自主研修は4グループに対し助成した。

オ 災害時外国語ボランティア研修会の開催(東部・中部・西部)

静岡県災害時多言語支援センターや災害時外国語ボランティアの活動についての説明及び講義「災害時に外国人が直面する課題と災害時外国人支援の心構え」、パネルディスカッション「出身国と日本との防災意識について」、外国人住民を交えた意見交換会を行った。

[東 部]

- ・開催時期 令和2年11月22日(日)
- ・会 場 プラサヴェルデ401会議室(沼津市)
- ・参加者 10名

[中 部]

- ・開催時期 令和2年8月29日(土)
- ・会 場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」502会議室(静岡市)
- ・参加者 33名

[西 部]

- ・開催時期 令和2年11月14日(日)
- ・会 場 袋井市総合センター会議室(袋井市)
- ・参加者 11名

(4) 日本国際連合協会関連事業

国際連合の機能・活動に対する理解を深め、国際活動の基本的能力である語学力の向上を図る機会を一般県民に広く提供した。

ア 国連英語検定(5月:中止、10月:14名)を実施した。

受験者数の減少に伴い、令和2年度をもって静岡会場の廃止が決定された。

イ 国連外国語講座開催(英語・韓国語、年2回開催 各10回、静岡市・沼津市)

・外国語講座(受講人数計252名)を開催した。

【 海外との関係強化・維持 】

(5) 留学生支援事業

ア ふじのくに留学生親善大使設置事業(県委託事業)

これまで委嘱した「ふじのくに留学生親善大使」が、地域の国際交流事業への参加や学校や地域行事で母国文化を紹介する講師を務めた。

・参加事業件数 105件

・事業参加親善大使 131名

イ 留学生就職支援事業(公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム委託事業)

県内大学に在学し、静岡県内企業への就職を希望する留学生に対し、静岡県の産業や企業を学ぶ講座を実施し、インターンシップ成果報告会をオンラインで配信した。

・開催時期 令和2年6月～令和3年2月

基礎講座(中部・西部)各3回、インターンシップ成果報告 1回

・会 場 静岡 B-nest、静岡県立大学(静岡市)

静岡大学浜松キャンパス(浜松市)

・インタビュー先企業 しずおかコンシェルジュ株式会社(静岡市)

・参加者 留学生128名

(6) 海外国際交流団体連携事業

国際相互理解を促進するため、市民交流希望案件を情報誌やホームページ等を通じ、県民や県内の青少年団体や女性団体、自治体等に情報提供、提案した。

(7) 海外移住者援護事業（県補助事業）

協会ホームページ内「オレンジネット」及び情報誌にブラジル、アルゼンチン、ペルーの各県人会から提供された情報を掲載し、海外静岡県人会への助成や高齢者表彰を行った。

- ・在外県人会への助成

ブラジル県人会 700 千円、アルゼンチン県人会 200 千円、ペルー県人会 200 千円、サンパウロ日伯援護協会 80 千円、アマゾンニア日伯援護協会 80 千円

- ・在外県人高齢者表彰

ブラジル 4名、アルゼンチン 2名、アメリカ 3名

2 多文化共生推進事業

【 外国人住民支援 】

(1) 外国人住民支援アドバイザー設置（県委託事業）

外国人住民が抱える複雑化した課題等に対応するため、ポルトガル語及びスペイン語・ベトナム語・フィリピン語の能力を持つ相談員及び日本人相談員を配置して相談窓口を開設するとともに、県内で開催される専門相談会等に出向き各地域の相談対応を支援した。

- ・相談件数 1,774 件

- ・国別人数 ブラジル 199 人、日本 234 人、ペルー 38 人、フィリピン 258 人、ベトナム 515 人、インドネシア 214 人、中国 56 人、韓国 4 人、その他 181 人 合計 1,699 人

- ・相談内容 在留手続き 276 件、社会保険・税金・医療関係 256 件、労働関係 251 件、教育 114 件、身分関係 95 件、その他 782 件、合計 1,774 件

(2) 外国人住民相談窓口高度化事業

外国人住民の生活で重要となる医療、福祉、教育、雇用、防災等の分野での具体的な支援策の構築を図るため、体制整備に向けた検討・研修会や調査を行うとともに、医療通訳者紹介や就労支援マッチング事業に取り組んだ。

ア 静岡県医療通訳体制整備事業

「医療通訳者紹介」

- ・派遣者 15 件（15 言語）

- ・派遣病院 7 病院（静岡済生会総合病院、沼津市立病院、こひつじ診療所 等）

イ 静岡型定住外国人就業・定着システム構築事業

◇外国人求職者及び雇用に関心のある企業の登録、求職者と企業のマッチングを行った。

- ・企業登録者数 2 社（総数 74 社）

- ・外国人登録者数 5 人（総数 170 人）

◇外国人の受入に関心のある企業を対象とした事業報告等を実施した。

「外国人の就労や受入企業についての現状報告」

- ・開催時期 令和 2 年 10 月 23 日（金）

- ・会場 焼津市公民館 大集会室

- ・参加者 15 名

ウ 新型コロナの影響に伴う外国人住民への食料支援

「ブラジル人学校を拠点とした食料支援」

- ・開催時期 7月17日(月)～9月25日(金)計6回
 - ・会場 エスコラ・フジ(富士市)オブジェチーボ・ジ・イワタ(磐田市)
 - ・支援者数 331人
 - ・協力 フードバンクふじのくに
- 「ベトナム人を対象とした食料支援」
- ・開催時期 7月26日(日)
 - ・会場 静岡県観光・国際交流センター水の森ビル2階共用会議室
 - ・内容 生活困窮者のための食料配布及出張専門相談会の開催
 - ・協力 在静岡県ベトナム人会

(3) 日本語指導ボランティア研修会開催事業

外国人住民への日本語指導を行うボランティアの資質向上及び地域日本語教育の推進を目的とし、「静岡県日本語ボランティアセミナー2021」をオンラインで開催した。コロナ禍における外国人住民の生活課題やオンラインを活用した日本語活動について学んだ。

ア 「静岡県日本語ボランティアセミナー2021」

- ・開催時期 令和3年1月17日(日)
- ・参加者 100名

イ 日本語サポーター

- ・登録者数 438名(令和3年3月31日現在)

ウ 静岡県地域日本語教育事業(県委託事業)

静岡県の地域日本語教育の体制整備を目的とし、総括コーディネーター等を配置した。

また、モデル市である菊川市及び磐田市が設置した日本語教室に関わる支援者の養成講座の実施や教材の作成を行った。

(ア) 総括コーディネーター及び補助者の配置

- ・配置期間 令和2年5月～令和3年3月
- ・人数 総括コーディネーター 1名 補助者 1名

(イ) 「日本語指導者養成講座」の実施

- ・開催時期 令和2年9月4日(金)～12月17日(木) 全7回
- ・会場 菊川市役所、磐田市役所、袋井市教育会館等
- ・参加者 36名

(ウ) 「地域における日本語教育を推進するためのセミナー」の実施

- ・開催時期 令和3年1月28日(木)
- ・会場 オンライン開催
- ・参加者 市町多文化共生担当課長等 35名

(エ) 日本語学習教材の作成

- ・作成物 「静岡県対話交流型初期日本語教材 はじめまして!日本語」
「静岡県対話交流型初期日本語教材 はじめまして!日本語 指導者用
マニュアル」

(4) 外国人学校児童生徒日本語支援事業

外国人学校に通う児童生徒の日本語教育について、日本語指導者等と課題を共有した。必要な支援を「子どものための日本語学習支援基金」事業につなげた。

【 地域連携・協働事業 】

(5) 多文化共生団体ネットワーク構築（県委託事業）

県内市町の国際交流協会の連携と協働の強化・充実を図るため、情報交換会及び研修等を開催した。

ア ホームページによる情報提供

イ 「静岡県多文化共生総合相談センター連携研修会」（県委託事業）

外国人相談員の領域、対応のノウハウ、注意する点や外国人相談にあたり役立つワークショップ、各相談機関との連携について学んだ。

[東 部]

- ・開催時期 令和2年12月8日（水）
- ・会 場 沼津市民文化センター2階大会議室（沼津市）
- ・参加者 31名（県市町相談業務担当者、多文化共生総合相談窓口相談員、国際交流協会職員・相談員、各市町社会福祉協議会職員・相談員、各機関外国人関係業務担当者、医療従事者、医療ソーシャルワーカー等）

[中 部]

- ・開催時期 令和2年11月25日（水）
- ・会 場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」2階大会議室（静岡市）
- ・参加者 34名

[西 部]

- ・開催時期 令和2年11月27日（金）
- ・会 場 袋井市教育会館4階大会議室（袋井市）
- ・参加者 45名

[伊 豆]

- ・開催時期 令和3年3月22日（月）
- ・会 場 オンライン(Zoom)
- ・参加者 23名

(6) 外国人児童支援事業

日本語指導を必要とする児童生徒に関わる支援者のスキルアップを目的とし、「外国人の子ども支援員養成講座」を実施した。全3回のうち、2回以上受講した方に修了証を交付した。また、県拠出金や民間寄附等を財源とする「子どものための日本語学習支援基金」を活用して日本語能力試験受験料助成事業、日本語学習指導者派遣事業、日本語学習教材給付事業、提案型助成事業を実施した。

ア 「外国人の子ども支援員養成講座」（県委託事業）

[沼津会場]

- ・開催時期 令和2年10月7日（水）、10月14日（水）、10月21日（水）

- ・会 場 プラサヴェルデ、沼津市立図書館
- ・参加者 31名（修了者29名）
- [掛川会場]
- ・開催時期 令和2年11月4日（水）、11月11日（水）、11月18日（水）
- ・会 場 掛川市立中央図書館（袋井市）
- ・参加者 27名（修了者26名）

イ 子どものための日本語学習支援基金

「日本語能力試験受験料助成」

- ・助成対象者 66名

「日本語学習指導者派遣事業」

- ・派遣実施校 2校

「日本語学習教材給付事業」

- ・給付対象者 292名、助成金を交付した地域日本語教室 1団体

「提案型助成事業」

- ・採択事業件数 4件

(7) 外国人技能実習生等日本語支援事業

技能実習生の日本語教育は、企業責任において実施すべきとの考えをもとに、日本語支援者の紹介や地域のイベント参加を促す取組を継続的に行った。